

第2回

「早期被害把握分科会」を開催しました。

日 時： 令和2年1月8日（水）16:00-18:00

場 所： 防災科研東京会議室C（東京都港区西新橋2-3-1 マークライト虎ノ門6F）

参加者：

〔会長〕 鶴飼章弘（東京海上日動火災保険(株) 災害対策室長）

〔副会長〕 井ノ口宗成（サブプロa分担責任者／富山大 都市デザイン学部 准教授）

〔企業〕 林 孝幸（東京海上日動リスクコンサルティング(株) 企業財産本部 リスク定量化ユニットⅠ ユニットリーダー）

金子雅彦（東京海上日動リスクコンサルティング(株) 企業財産本部 リスク定量化ユニットⅡ ユニットリーダー）

〔プロジェクト〕 田村圭子（サブプロa統括／新潟大 危機管理本部 危機管理室 教授）

上石 勲（サブプロa統括／首都圏レジリエンス研究センター 副センター長）

堀江 啓（サブプロa分担研究者／MS&ADインターリスク総研(株) 総合企画部 フェロー）

〔議事次第〕

1. 活動報告 台風19号の被災地支援
～茨城県・福島県での罹災証明書の一括認定に向けた支援活動
2. 課題 ①自治体によって変わる受け入れ体制、デジタル化モバイル化のメリット・デメリット
②水害時、「全壊」認定ルール対応の進捗
③分科会と保険会社のデータ共有トライアル実施（北海道胆振東部地震）後の更なる協働体制
3. 今後の取り組み マルチハザード対応とデータ利活用可能性の本格的な検証など
4. その他 次回分科会までに研究者側で、新たな課題も含めた討議テーマの取りまとめ

